



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東
 コード番号 6800 URL http://www.yokowo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員常務 (氏名) 横尾 健司 (TEL) 03-3916-3111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	38,075	18.9	2,349	17.1	2,439	8.2	1,816	4.0
29年3月期第3四半期	32,022	8.7	2,006	197.4	2,255	198.7	1,747	225.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,681百万円(46.0%) 29年3月期第3四半期 1,836百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第3四半期	90	07	89	70
29年3月期第3四半期	87	33	87	22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
30年3月期第3四半期	38,297	23,158	60.4
29年3月期	33,319	20,836	62.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 23,148百万円 29年3月期 20,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	51,000	15.7	3,100	23.2	2,950	13.1	2,200	△7.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 東莞友華電子有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	20,849,878株	29年3月期	20,849,878株
30年3月期3Q	647,919株	29年3月期	728,888株
30年3月期3Q	20,171,950株	29年3月期3Q	20,009,397株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、すべてのセグメントが前年同期比で増収となり、380億7千5百万円（前年同期比+18.9%）となりました。営業損益につきましては、車載通信機器セグメントが前年同期比で減収となりましたが、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが前年同期比で大幅な増益となったことから、23億4千9百万円の利益（前年同期比+17.1%）となりました。経常損益につきましては、為替差益が前年同期比で大幅な減少となったものの、営業増益により、24億3千9百万円の利益（前年同期比+8.2%）と、前年同期比で増収となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常増益の一方、税金費用負担率の上昇などにより、18億1千6百万円の利益（前年同期比+4.0%）と、前年同期比で小幅な増収となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の測定方法にて組み替えた数値にて比較しております。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、アセアン市場においては安定した需要がみられたものの、米国市場においては需要が頭打ちとなったことから新車販売台数が前年を下回り、中国市場においては成長の鈍化傾向がみられました。国内におきましては、軽自動車の反動増により、新車販売台数は前年を上回りました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、国内・海外ともに販売が伸長し、前年同期を上回りました。また、国内向けを主とする製品については、E T C車載アンテナはE T C2.0対応特需の反動減となったものの、フィルムアンテナは前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は264億6千4百万円（前年同期比+14.0%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、中国において製造要員確保・定着率向上のための賃金引上げなどで労務費が膨らんだほか、新規採用要員比率上昇に伴う生産性低下や部品調達遅れなどから航空便を多用し、製品輸送費用が大幅増となったことなどにより、6千1百万円の利益（前年同期比△94.5%）となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの低迷、タブレット向けの減少や、スマートフォン向けの成長鈍化懸念の一方で、NAND/DRAMなどメモリー需要の増加により、全体としては成長が継続するものとみられております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の販売は、旺盛な受注増と円安効果により、前年同期を大幅に上回りました。また、高周波電子部品検査用MEMSプローブカードを戦略製品とする半導体前工程検査用治具の販売も、積極的な拡販活動により、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は70億2千2百万円（前年同期比+40.6%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益に加え、比較的利益率の高い製品の比率上昇、マレーシア工場生産比率引上げによる原価率低減、円安メリットなどにより、13億7千万円の利益（前年同期比+196.1%）となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場は携帯端末市場及びPOS端末市場であり、携帯端末市場は、スマートフォン/タブレット端末が世界的な飽和傾向により伸びが鈍化しております。一方のPOS端末市場は、物流/製造を始め幅広い業界での利用拡大が続いており、端末機器の多様化・高機能化とともに着実な成長が見込まれております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、POS端末メーカー向け販売の順調な推移に加え、携帯端末メーカー向けの販売が受注増により回復傾向となり、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましても、海外顧客向けガイドワイヤユニット販売の本格化などにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は45億8千7百万円（前年同期比+20.1%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益に加え、比較的利益率の高い製品の比率上昇などにより、9億3千8百万円の利益（前年同期比+117.4%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高 前年同期比較)

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成28年4月 至平成28年12月	当第3四半期 連結累計期間 自平成29年4月 至平成29年12月	前年同期比
	売上高	売上高	増減率
車載通信機器	23,208	26,464	+14.0
回路検査用コネクタ	4,993	7,022	+40.6
無線通信機器	3,820	4,587	+20.1
合計	32,022	38,075	+18.9

(事業セグメント別連結売上高 四半期別推移)

(単位：百万円)

	第1四半期 連結会計期間 自平成29年4月 至平成29年6月	第2四半期 連結会計期間 自平成29年7月 至平成29年9月	第3四半期 連結会計期間 自平成29年10月 至平成29年12月
	売上高	売上高	売上高
車載通信機器	8,554	8,678	9,231
回路検査用コネクタ	2,248	2,207	2,566
無線通信機器	1,521	1,555	1,511
合計	12,324	12,441	13,309

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しともに、前回予想時の想定を上回っていることから、下表のとおり上方修正いたします。

なお、想定為替レートは前回予想と同じく1米ドル=110円と設定しております。

通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円、%)

	業績予想 (平成29年11月公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	49,500	51,000	+1,500	+3.0
営業利益	2,850	3,100	+250	+8.8
経常利益	2,700	2,950	+250	+9.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,800	2,200	+400	+22.2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,818,150	5,438,409
受取手形及び売掛金	9,248,141	10,623,090
商品及び製品	3,110,795	5,265,906
仕掛品	353,943	395,752
原材料及び貯蔵品	2,438,513	2,820,974
その他	1,490,853	1,509,614
貸倒引当金	△16,924	△14,219
流動資産合計	22,443,473	26,039,529
固定資産		
有形固定資産	7,782,936	8,781,131
無形固定資産		
その他	579,863	502,087
無形固定資産合計	579,863	502,087
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	25,887
その他	2,513,535	2,948,430
投資その他の資産合計	2,513,535	2,974,317
固定資産合計	10,876,335	12,257,536
資産合計	33,319,808	38,297,065
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,690,100	6,546,423
短期借入金	2,364,965	2,382,040
未払法人税等	188,500	292,762
賞与引当金	425,980	284,304
その他	2,412,008	3,004,387
流動負債合計	10,081,555	12,509,917
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,600,000
製品保証引当金	89,123	89,767
退職給付に係る負債	144,034	163,103
その他	568,989	775,872
固定負債合計	2,402,147	2,628,743
負債合計	12,483,702	15,138,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	12,642,063	14,012,651
自己株式	△854,956	△760,032
自己株式申込証拠金	1,977	282
株主資本合計	19,767,282	21,231,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,371	784,006
為替換算調整勘定	406,640	882,935
退職給付に係る調整累計額	263,546	250,107
その他の包括利益累計額合計	1,052,557	1,917,049
新株予約権	16,265	10,256
純資産合計	20,836,106	23,158,404
負債純資産合計	33,319,808	38,297,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	32,022,188	38,075,202
売上原価	25,445,977	30,450,910
売上総利益	6,576,211	7,624,292
販売費及び一般管理費	4,569,675	5,275,214
営業利益	2,006,535	2,349,077
営業外収益		
受取利息	4,913	13,157
受取配当金	28,637	28,459
外国税還付金	4,742	82,932
為替差益	221,745	8,233
その他	37,030	37,572
営業外収益合計	297,069	170,354
営業外費用		
支払利息	37,278	58,103
その他	10,520	21,553
営業外費用合計	47,798	79,656
経常利益	2,255,807	2,439,775
特別利益		
固定資産売却益	1,761	10,418
投資有価証券売却益	—	258
特別利益合計	1,761	10,676
特別損失		
固定資産売却損	1,386	91
固定資産除却損	25,472	46,129
製品保証引当金繰入額	16,068	—
訴訟和解金	55,000	—
特別損失合計	97,927	46,221
税金等調整前四半期純利益	2,159,641	2,404,231
法人税、住民税及び事業税	474,950	439,686
法人税等調整額	△58,657	147,652
法人税等合計	416,292	587,338
四半期純利益	1,743,348	1,816,892
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,992	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,747,340	1,816,892

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,743,348	1,816,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243,141	401,635
為替換算調整勘定	△180,214	476,294
退職給付に係る調整額	30,298	△13,439
その他の包括利益合計	93,224	864,491
四半期包括利益	1,836,573	2,681,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,840,618	2,681,384
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,044	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,208,498	4,993,300	3,820,390	32,022,188	—	32,022,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	83,300	—	83,300	△83,300	—
計	23,208,498	5,076,600	3,820,390	32,105,488	△83,300	32,022,188
セグメント利益	1,101,763	462,789	431,667	1,996,221	10,314	2,006,535

(注) 1. セグメント利益のその他10,314千円は、主に親会社間との内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,464,682	7,022,726	4,587,793	38,075,202	—	38,075,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	131,662	—	131,662	△131,662	—
計	26,464,682	7,154,388	4,587,793	38,206,864	△131,662	38,075,202
セグメント利益	61,138	1,370,307	938,266	2,369,712	△20,635	2,349,077

(注) 1. セグメント利益のその他△20,635千円は、主に親会社間との内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、各セグメントにおける利益状況をより詳細に把握するために、これまでその他に含めておりました棚卸資産の調整額に関わる費用を各報告セグメントのセグメント利益に含めて計上しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しております。